
第9回

「いのちのつながり」 小作文作品集



主催：小笠原モラロジー事務所
後援：牧之原市教育委員会

「命のつながり」小作文

表彰式

平成31年3月2日(土)

13:30~15:00

牧之原市相良総合センター

「いーら」

《式次第》

開 会

主催者あいさつ

小笠榛原モラロジー事務所

代表世話人 前田 恭典

来賓あいさつ

牧之原市長

杉本 基久雄 様

牧之原市教育長

橋本 勝 様

選考委員長 審査報告

元牧之原市教育委員長

鈴木 干城 様

表彰式

表彰作品朗読

優秀賞、特選受賞者

講 話

公益財団法人モラロジー研究所

南関東ブロック副部長 石川 欽一

閉 会

主催者挨拶

小笠榛原モラロジー事務所主催の第9回「いのちのつながり」小作文コンクールを牧之原市内の小学校の5・6年生を対象に応募を呼びかけましたところ、598編もの小作文が寄せられました。

ご応募を頂きました皆様、ご協力を賜りました各小学校の校長先生、担任の先生には厚くお礼申し上げます。さて、児童より寄せられました小作文は子供たちの清らかな眼差しと純真無垢な心で家族への思いや感謝、祖先への思いそして友達を思う心、命の大切さなど素直に表現されていて、どれも素晴らしく感動的なものでした。そして、私たち親、大人にも沢山の学びと気づきの示唆を与えてくれました。

このように子供たちが家族の中で親や祖父母、祖先とのつながりを感じたり、友達への思いやりの心をお互いに確認し合うことは、喜びと生きる力を高め合い明るい家庭、より良い地域社会へと繋がります。

この小作文募集が、家庭をはじめ広く社会の中で、心の絆を深めていく一助ともなれば幸せに存じます。

最後になりましたが、ご後援を頂きました牧之原市教育委員会様、関係各位様に厚くお礼申し上げます。

小笠榛原モラロジー事務所

代表世話人 前田 恭典

審査報告

選考委員長

元牧之原市教育委員長 鈴木干城

小笠榛原モラロジー事務所が主催する「いのちのつながり」小作文コンクールが開催され、598人の皆様方からの応募がありました。

課題をみつめ、文の内容や語の意味などを大切にし、自分自身の体験や思い出など丁寧に書いた作品が多くあり、力を込めたものがたくさんありました。

読後の感想として

- (1) 物事について深く考える構えをもつようにすること。
- (2) 自分自身をとりまく周囲は、自分の成長に深くかかわっていることをますます理解してほしい。
- (3) 「本は心の栄養」といいます、本は機会をつくって目を通すことです。
- (4) ふだんから物事を深く考え、より良く、強く生きるということになげていきたい。

の4点を感じました。

以上、審査報告とさせていただきます。

第9回牧之原市立小学校『いのちのつながり』小作文

コンクール審査結果

優秀賞

牧之原市長賞

いわくら
岩倉 未桜

牧之原小6年1組 「いのち」

牧之原市教育長賞

片瀬 いろは
彩葉

川崎小5年2組 「家族」

モラロジー研究所賞

やまもと
山本 そら
爽来

勝間田小6年1組 「命の大切さ」

特選

しみず
清水 とおる
亘

相良小6年2組 「感謝」

おおいし
大石 こま
ち
小真智

川崎小6年2組 「家族」

おおいけ
大池 おと
和音

地頭方小5年1組 「家族」

入選

※順不同

5年生

いしかわ ここね 相良 「いのち」
石川 心姫音
おおた しょうや 菅山 「命」
太田 翔也
みずの ゆあ 萩間 「家族」
水野 友愛
やぎ わかな 萩間 「親」
八木 和奏
ささき りゅうのすけ 地頭方 「命」
佐々木 龍之介
おおいし すずか 牧之原 「感謝」
大石 涼華
えだむら れいか 川崎 「感謝」
枝村 怜香
すぎうら みかる 細江 「感謝」
杉浦 美翼
かとう はるひ 勝間田 「感謝」
加藤 是るひ
まつもと さや 坂部 「感謝」
松本 早矢

6年生

いまむら ゆうか 相良 「いのち」
今村 悠花
なかむら ふうか 菅山 「家族」
中村 風栴
みずの よう 萩間 「感謝」
水野 陽
ますだ ももか 地頭方 「いのち」
増田 百華
ひらやま ふうか 地頭方 「いのち」
平山 楓華
さわいり れん 牧之原 「感謝」
澤入 スイ蓮
まつなが まこと 川崎 「命への感謝」
松永 真琴
おおいし ひまり 川崎 「命への感謝」
大石 ひまり
よしおか さゆり 勝間田 「大切ないのち」
吉岡 小百合
いたくら ここね 坂部 「家族」
板倉 心響

佳作

※順不同

5年生

一木 春歩 相良 仲田 愛未 牧之原
須藤 恋羽 相良 中村 緋里 牧之原
石井 李佳 相良 池田 未奈都 川崎
高須 遥菜 相良 野澤 美湖 川崎
杉田 和心 相良 清水 咲絵 川崎
大石 心菜 相良 西名 愛海 川崎
植田 羽夏 相良 羽田 柚葉 細江
鈴木 沙綾 菅山 木下 莉子 細江
藤原 奈々紗 菅山 牛嶋 准也 細江
高塚 美緒 菅山 飯塚 あき 勝間田
横山 呼春 萩間 中村 穂乃花 勝間田
西原 寛人 地頭方 村松 みお 勝間田
若林 由真 地頭方 小塩 優衣 坂部
大窪 寧 地頭方 杉本 華乃 坂部

6年生

福島 日真理 相良 永田 杏花 川崎
稲本 朱莉 相良 夏賀 彩矢 川崎
酒井 倖 相良 谷澤 愛心 川崎
杉山 祐大 相良 森澤 真優菜 川崎
山本 千晴 相良 鈴木 進之助 川崎
八木 琴峰 相良 加藤 芽衣 勝間田
青木 仁 相良 松本 大生 坂部
植田 伊織 菅山 良知 拓海 坂部
吉田 光輝 菅山
太田 晶穂 菅山
野本 光流 地頭方
久保田 掌 川崎
山本 瑛太 川崎
塚本 杏珠 川崎

優秀賞 牧之原市長賞

いのち

牧之原小学校 6年1組

いわくら みお
岩倉 未桜

みなさんは、いのちの本当の大切さに気づいていますか？

私は、妹と病院の先生のおかげで「いのち」の大切さに気づくことができました。私の妹は重い心臓病でした。その病気は、心臓移植をしなきゃ助からない病気でした。けれど、日本では心臓移植ができないので、海外に行くしかありません。それでも病院の先生は「日本では助からない病気」と分かっているけど「がんばれ、大丈夫だよ」と何度もはげましてくれました。

そして、海外に行くまで支え続けてくれました。しばらくして妹は、心臓移植をして無事日本に帰ってくる事ができました。そのとき先生達は「元気になったね」と泣きながら声をかけてくれたのをおぼえています。

私はこの時、これが『命を繋ぐ』ということなんだなと思いました。この大切さを教えてくれた人達には感謝でいっぱいです。

優秀賞 牧之原市教育長賞

家族

川崎小学校 5年2組

かたせいろは
片瀬 彩葉

家族は、私の応援団です。

私は学校の先生になりたいと思っています。家族は、私の夢をかなえようとしてくれています。

3年生の妹は、「お姉ちゃん勉強教えて」とたよってきます。

お父さんは、私が勉強をがんばっていると「勉強がんばってえらいね」とほめてくれます。

お母さんは、だれよりも私の夢のことを考えてくれています。私が、「音楽の先生をしたい」と言ったらピアノを習わせてくれました。私が、友達とうまくいかなかった時も「学校の先生になった時に良い経験になるよ。」とアドバイスをくれます。

家族みんなで応援してくれています。

優秀賞 モラロジー研究所賞

命の大切さ

勝間田小学校 6年1組

やまもと そら
山本 爽来

私は、「命の大切さ」についてあまり深く考えたことがありませんでした。

でも、自分の力だけで生きているわけではないことを改めて知りました。私の、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん・・・とつながっていて、その1人でもかけていたら、今の自分はありませんでした。

生まれてこられる確率は、3億分の1だと聞いて、自分が生きていることのすばらしさを感じました。

これからも、自分が、生きていることのすばらしさと誇りを持って生きていきたいです。

特 選

感 謝

相良小学校 6年2組

しみず とおる
清水 亘

ぼくは、家族のありがたさを改めて知りました。家族は、自分以外に自分のことを知っている人で、いつもぼくを支えてくれてる人です。

時にはきびしくしてくれることも、自分のことをちゃんとと思ってきびしくしてくれているので、感謝しています。

この先、もしかすると親が困ることがあるかもしれないので、その時は親に感謝の気持ちを行動で表したいです。

特 選

家 族

川崎小学校 6年 2組
おおいし こまち
大石 小真智

お父さんとお母さんは、私を生んで育ててくれている。
妹とは、けんかばかりだけど、一緒に笑い合ってくれる。
犬達は、私が帰宅した時に出むかえてくれる。

今日の私が、笑ったり、泣いたりできるのは、家族がいるから。家族がいるから、私が私でいることができる。

家族は、世界にたった1つしかない、温かく私を包んでくれる宝石。先の見えない人生も、家族と一緒になら大丈夫。私にとって家族がそのような存在であるように、私も家族にとって、そんな存在でありたい。そう思う。

皆さんも、今自分がここにいられるのは、だれが何をしてくれたからか、改めて考えてみて下さい。そこには必ず家族の大切さがあるはずです。

特 選

家 族

地頭方小学校 5年 1組
おおいけ おと
大池 和音

私が、今生きているのは、家族や昔の人のおかげです。

今までで私に関わってきた人が一人でもいないと、私や家族はいないことになります。なので、昔の人達に感謝をしたいです。

だけど、昔の人達の力だけではここまで生きてこられません。11年間生きてこれたのは、いつもささえてくれた家族のおかげです。なので、家族にも感謝をしたいです。

人と人のつながりは、すごく大切なことだと思います。

私も、これからは人とのつながりを大切にして生きていきたいです。

入選（5年生）

「いのち」

相良小学校 5年3組

いしかわ ここね
石川 心姫音

命は、糸のように長く長くつながっている。ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん、私が知らないご先祖様の時代から。

お父さんとお母さんからもらったこの命は、私だけのものではない。今を大切に、私もこの命を大切につなげていきたい。

とぎれず、丈夫な糸になるように、強く強く生きていきたい。

「命」

菅山小学校 5年1組

おおた しょうや
太田 翔也

ぼくは、家族やおじいちゃん、おばあちゃんに大切に育てられてきました。

それに、ぼくは、生きていたことがあたり前だと思っていたけど、けがや事こで命をおとす人がいるニュースを見るたび、ぼくは、けがや事こも無くて、幸せに生きていることは、うれしいことだなと実感しました。

なので、ぼくは、この命を大切にしていきたいです。

「家族」

萩間小学校 5年1組

みずの ゆあ
水野 友愛

私は、5年生になって、東日本大震災の事を学び、たくさんの方が亡くなったことを知り、命の大切さを感じました。私にとって家族は、とても大きなそんざいです。毎日お父さんが働いてくれているから、色んなほしい物が買える。お母さんがおいしいご飯を作ってくれる、やさしいお姉ちゃんがいるから遊んでくれ、困った時は、私を助けてくれる。

今、私は家族に支えられながら生きています。家族がいてくれるのが、当たり前ではなく、感謝をわすれずに、これからも、1日1日を大切に生きていきます。

私も、家族の支えになるように。

「親」

萩間小学校 5年1組

やぎ わかな
八木 和奏

お父さん、お母さんへ。お父さんは、いつも全然遊んだりしてくれないけど、お店に行くときは、いつも、「行く？」とか「いっしょに行こう」って言ってくれるときは、うれしいです。

いつも、なんにも物を買ってくれないから、何年か前に買ってもらった文ぼう具を、今でも大切に使ってます。お父さんは、おもしろくて、優しいのでそこが好きです。

お母さんは、おこることが多いけど、いつもはすごく優しい。たまにほしい物があると買ってくれるところが好きです。和奏がいやな事があったら、優しく話も聞いてくれて、学校に行くときは、げんかんまで来て、「がんばってね、いってらっしゃい」と言ってくれるところも好きです。

最後に、お父さん、お母さん、いつもありがとう。

「命」

地頭方小学校 5年1組
ささき りゅうのすけ
佐々木 龍之介

ぼくが、生まれるには、何人もの人がかかわっています。

だから、その命を大切に、大人になったら次につなげて、たくさん人口をふやして、明るい未来にするために、ぼくもかわりたいし、いまいる人は、昔に1人もかけたら、そんざいしないから、自分のことではなく、次につなげると言うことが大切だとぼくは思うから、生きてると言う幸せを感じて生きていってほしいし、1日1日を大切に、次につなげていけたらいいと思います。

「感謝」

牧之原小学校 5年1組
おおいし すずか
大石 涼華

「よかった」と、改めて思いました。

私は、今、この家庭ですごし、クラスにも、他の学年の人達にもめぐまれ、毎日楽しくて、おもしろくて、ときにはおこったりするけど、こんなすごく幸せな環境に生まれ、育てられてきて、心からよかったと思ひ、産んでくれたお母さん、育ててくれた家庭のみんな、毎日楽しくさせてくれる友達、この家庭を作ってくれた先祖様達に感謝でいっぱいです。

「感謝」

川崎小学校 5年1組
えだむら れいか
枝村 伶香

私は、たくさんの方に感謝しています。

私は、めぐまれたかんきょうで、健康に生きていることです。

ご飯が食べられること、病気にならず健康でいることが、私にとっての感謝です。ほかの国では、ご飯があまり食べられない国もあると聞きました。私は、その国に比べて、私はめぐまれているんだなと思いました。

私が感謝していることが、もう1つあります。それは健康でいられていることです。人は、いつ病気になるかわかりません。もしかしたら、明日なるかもしれません。そのなかで、いま病気になっていないのは幸せなことです。私は、この2つのことに感謝して、これからも1日を大切にしていきたいと思いました。

「感謝」

細江小学校 5年1組
すぎうら みかる
杉浦 美翼

人は、ひとりで生きていけません。人の助けや、協力で生きていくことができます。こまっている時、辛い時、悲しい時、なやんでいる時、必ずだれかが声をかけてくれて、とによりそってくれます。

自分ひとりだったら、何もしゃべれなく、部屋に閉じこもっていると思います。

人の優しさ、温かさ、行動に感謝です。

これからの生活で、人との関わりを大事に、大切にしていきたいと思っています。

「感謝」

勝間田小学校 5年1組

かとう
加藤 はるひ

私は、毎日たくさんの人にささえられてきている。先生や友達は学校を楽しくしてくれる。近所の人、安全に帰れるように、横断歩道に立ってくれている。そして、家族はいろんなことを相談できる、かけがえのないそんざい。

私は、そうやって、毎日十人以上、いやもっと多くの人にささえられながら生きている。ごせんぞ様も私に、命をあたえてくれている。私を、空で見守ってくれている。私は、地球のうら側の人たちにも、もしかしたら助けられているかも知れない。

そんなたくさんの人に、ささえられて生きているからこそ、毎日、私の心は、感謝でいっぱいだ。

「感謝」

坂部小学校 5年1組

まつもと さや
松本 卓矢

私を育ててくれてありがとう!!

おたんじょう日に、いっぱいおいわいしてくれたね。

毎日笑わせてくれたね。お母さん、お料理いっしょに作ったね。お父さん、プラモデルの組み立て方教えてくれたね。

お兄ちゃん、いっしょに遊んだね。おばあちゃん、おじいちゃん、農業がんばってるよね。私は、家族のよさをいっ~ぱい見つけました。私は、よさがいっ~ぱいある家族が大好きです。

これからも、よさを、数えきれないほど、いっ~ぱい見つけたいです。

入選（6年生）

「いのち」

相良小学校 6年1組

いまむら ゆうか
今村 悠花

いのちは1人1つ。そして、いのちは、てんびんにかけてはならない。死ぬことはかんたん。でも、うまれてくることは、とってもむずかしい。

まわりの人からたすけられながら、やっとうまれてきた。親が、くろうして、くろうして、やっとうまれてきた。でも、中には、いや、つらい、などの理由で『じきつ』してしまう人もいる。

人は、うまれてくるときに『夢』と『きぼう』を右手と左手にもってうまれてくる。そして、うまれて、手をひらいた時、『夢』と『きぼう』はどこかへいってしまって、人は、その『夢』と『きぼう』をつかまえるために生きているんだよ。でも、つかまえられずに人生をとじる人もいる。

だから、いのちは大切に。

「家族」

菅山小学校 6年1組

なかむら ふうか
中村 風椏

「おかえり!」と、笑顔で迎えてくれる家族。家族がいないと、帰る場所はない。家族がいないと、ご飯は食べられない。

家族は、自分のことだけでなく、みんなの事を考えて「すごい」といつも思う。仕事に家事にお世話。色々な事をこなしている。

私は、家族といると、なんだか気持ちが温かくなる。それは、いつも自分のため、みんなのためにがんばってくれている家族に感謝の気持ちをもっているから、信らいているからだと思う。もちろん、私自身を産んでくれたことにも、毎日家で見守ってくれていること、おいしいご飯を作ってくれていることにも感謝したい。

いつもありがとう。

「感謝」

萩間小学校 6年 1組
みずの よう
水野 陽

私たちは、自分自身の力だけではなく、いろいろな人たちの力をかりて生きています。いつもやっていることが、自分にとってあたりまえでも、世界には、それがあたりまえではない人がたくさんいます。

ですから、毎日、1秒1秒がとても大切です。

あたり前のことができるのも、自分の力だけではありません。

なので、あたり前のことをあたり前にできることに感謝して生きていきたいです。

「いのち」

地頭方小学校 6年 1組
ますだ ももか
増田 百華

私は、小5くらいかな？そんな時らへんで、1度病み、暗い性かくなってしまった。

「何で生きてるの？」「人間って何？」って感じで、生きるのがどうしようもなく、つらかった。苦しかった。いつも、苦しさに、つらさに、悲しみに、たえていた。

そして、ある日、自分の手作りノートに「生きたくない。」「死にたい。」ってそう書いた。書いてから、学校に行った。帰ってきて、ノートを開いた。すると…次のページに、お母さんが書いた文字が、文が、いっぱいあった。私は、ある一文に目がいった。「あなたは、大切な家族なんだから。」それを見たしゅんかん涙がとまらなくなった。泣きたかったわけじゃないのに、胸が苦しくて泣いた。

それからと言うもの私は、そのノートを見て元気や、勇気もらっている。私が生きている。それだけで、一人の人をよろこばせている。

「いのち」

地頭方小学校 6年 1組
ひらやま ふうか
平山 楓華

私は、「いのち」は自分が生きていること、生きていることはすばらしいこと。私は、一度いやなことがあって、「どうして生きているんだろう」と思いました。

でも、生きていられない人や、赤ちゃんの時にびょうきで亡くなった人、いろんな人がいるなか、自分が健康で産まれることができ『いのち』は大切だと改めて思いました。

ある時、テレビで見た時、はやくに子どもをなくした人が、それでも前向きですごして、すごいなと思いました。

これからも、健康でみんなのためにも、あと100年生きていられるように「いのち」を大切にして、すごしていきたいです。

「感謝」

牧之原小学校 6年 1組
さわいり れん
澤入 スイ蓮

みなさんは、家族に感謝したり、されたりしたことはありますか？

私は、よくお母さんが、「ありがとう、次もよろしくね」とか「いつもありがとう」を言ってくれます。

でも、私は、お母さんより小さい仕事なのに…と思いました。しかも、お母さんが、家族のために家をキレイにしてくれているのに、あたりまえのようにすごして、かんしゃのことばをおすれていました。

ある時、いつもの通りにがっこうから帰ってくると、お母さんがため息をついていました。つかれてるのかなと思って、コーヒーをつくってわたすと、お母さんが、子供のようにココクと飲んで、コップをおくと、顔がさっきよりあかるくなって、いつものようなやさしい笑顔が出てきました。それで、お母さんが、「なんかやるき出ちゃった、コーヒーありがとう」と言って仕事をやりはじめました。でも、いつもとちがって、うれしそうでした。

私は思いました、ほんの小さなかんしゃでも、相手は、とてもうれしくなるんだなとわかりました。

「命への感謝」

川崎小学校 6年 2組

まつなが まこと
松永 真琴

私が今ここにいるのは、お母さんや、おとうさんのおかげで、ここまで育つことができたのも、いつも朝早くから、ご飯を作ってくれるお母さんや、お仕事をがんばってくれるお父さんたちのおかげです。

親以外にも、学校の先生や友達、近所の人たちとも支え合って暮らしています。

私も大人になったら、子どもを産みたいです。そして、私が産まれたように、命をつないで50年さき、100年さきも、命をつないでほしいです。

命は、一人にかならず一つしかありません。私は、この命を、自分の好きなことや、いろんな、支えてくれた人たちに感謝の気持ちを持ちながら生きていきたいです。

私も、いろんな人を支え、命という一つしかない大切なものを大事にしたいです。

「命への感謝」

川崎小学校 6年 2組

おおいし ひまり

人間は命がつながっている。

なくなっても、生きている人も、命はつながっている。例えば、家族なら血がつながっているのだから命がつながっているということだ。

生きたくても生きられない人たちもいるんだから、今、生きていることにすごく感謝している。命のつながりがあるからこそ、今の自分がある。友達とも、楽しくすごせているし、地域の人とも楽しくすごせている。すごく幸せだ。

これから大人になっても、家族がくれた命を大切にし、生き続けたい。生きられなかった人の分の命も大切にして生き続けたい。「命」というものに感謝しています。

「大切ないのち」

勝間田小学校 6年 1組

よしおか さゆり
吉岡 小百合

私たちが、今生きていられるのは、いろんな人たちが、私たちを支えてくれているからだと思います。

いろんな人たちとは、お母さん、お父さん、友達、先生などと、数えきれないほどいると思います。

今、「もういやだなあ」と思っている人たちも、今自分が生きている理由を考えてみてください。今の自分は、お母さんががんばって、くるしい思いをしながら、奇跡を起こして産んでくれたり、私たちみんなが支えあっているから、今の自分がいると思います。

私も自分や誰かの人たちのためにも全力で生きていきたいです。

「家族」

坂部小学校 6年 1組

いたくら ここね
板倉 心響

私の家は、6人家族です。小さいころから、大切に育ててくれました。

私のお母さんは、今、病気で入院しています。何もできないお母さんのかわりに、お父さんや、おばあちゃんがごはんや、せんたく、私のおくりむかえをしてくれます。

私と弟の授業参観をいつもみにきてくれます。

お母さんが病気の今、私の家族は、家族のためにがまんし、協力しています。旅行やおでかけをすることだけがしあわせじゃなく、日常で家族といっしょにいられることが、本当のしあわせだと感じています。

『いのちのつながり』小作文応募者

(順不同)

相良小学校

5年1組

渡辺 泰成
 秋野 ちひろ
 木村 優奈
 水野 紗彩
 名波 里緒奈
 吉村 心海
 袴田 庵路
 北川 芯作
 大石 聖也
 秋野 來人
 秋野 由衣
 斉藤 剛志
 紅林 大葵
 名波 薫
 平井 志歩
 増田 羚希
 竹中 彌
 雨宮 佳汰
 大原 ゆな
 紅林 佑太
 鈴木 理人
 竹市 響
 塚本 翔太
 長野 兼伸
 仁藤 吹音
 増田 暖乃
 蓮池 翔太
 中田 優音
 薫田 陽翔
 一木 春歩
 須藤 恋羽
 石井 李佳

5年2組

神谷 鳳麒
 川田 瑠璃
 杉本 涼真
 松栄 柗真

矢部 湊仁
 森田 妃那
 浅野 友花
 松下 美咲
 森 碧星
 野村 哲平
 児玉 僚一
 大畑 郁也
 石原 璃子
 今村 僚哉
 大石 修士
 加藤 東峻
 河原崎 波音
 菅原 惟央
 中川 菜奈
 中山 瑠晟
 廣瀬 雄祐
 増田 彩里
 松下 日香莉
 山田 新大
 横田 莉暖
 米山 百花
 山本 真輝
 高須 遥菜
 杉田 和心

5年3組

板倉 佑太
 一木 朝日
 青島 穂佳
 今村 真悠
 石川 蓮
 藤田 杏依
 大石 兼士
 曾根 翔太郎
 良知 向日葵
 古川 絢衣
 福井 巴袴
 石井 叶夢
 八木 蒼佳
 四ノ宮 帆葉

増田 士竜
 吉崎 紗奈
 名波 凜
 石川 心姫音
 大石 心菜
 植田 羽夏

6年1組

近藤 駿多
 原崎 圭太郎
 赤堀 翠
 関 崇斗
 名波 龍之介
 佐野 煌太郎
 不知 美聡
 矢部 美結
 西谷 和真
 杉村 知紀
 植田 祐加
 近藤 朱藍
 名波 咲良
 橋山 元
 河原崎 ひより
 永野 咲楽
 加藤 愛莉
 長野 孔明

永野 愛葉

池村 奏音
 植田 愛心
 にしお ゆうすけ
 畑 友規
 西尾 一葉
 山崎 巧人
 小柳津 瑛介
 阿部 海翔
 四ノ宮 真穂
 赤堀 悠桜
 松下 佳莉
 今村 悠花
 福島 日真理

6年2組

矢部 紅羽
 大澤 航惺
 小澤 敬介
 関根 菜々美
 小原 芽紗
 宮崎 晴陽
 山北 和乎
 河原崎 百恵
 佐野 桔平
 赤堀 加奈
 牧 奏多

永田 藍偉
 松下 さくら
 杉村 理乃温
 富田 紗帆
 俵 鳳将
 神戸 愛海
 鈴木 夢実
 今村 光希
 今村 優成

高見 広乃
 平野 優騎
 秋野 希美
 名波 猛

清水 亘
 稲本 朱莉
 酒井 倅
 杉山 祐大
 山本 千晴

6年3組

名波 華梨
 大鐘 美薫
 永谷 げんき
 久保 さくら
 杉本 あゆ美
 柴田 姫愛
 片山 心
 柴本 菜耶
 富田 瑠椛

名波 連人
増田 彩乃
鈴木 美結
水野 紅亜
山崎 早莉
名波 駿
清水 明日夢
岩間 彩希
宮崎 光大
鈴木 真心
松下 京瑚
中村 秀美
鈴木 日和
八木 琴峰
青木 仁

菅山小学校

5年1組

樽林 悠
楠田 碧人
市川 聖奈
矢部 彩菜
大場 琉揮亜
樽林 大河
中島 耀志
永田 怜那
橋山 龍己
服部 慶大
松下 悠生
松下 蓮
松田 るい
高塚 美妃
大石 詩織
大石 凜子
鈴木 飛有
太田 翔也
鈴木 沙綾
藤原 奈々紗
高塚 美緒

6年1組

樽林 簾
小杉 真布
赤堀 柚月
森田 哲平
富田 浩和
佐野 希
佐藤 光希
大久保 頼奈
小野田 衣穂
小林 咲汰
高塚 翼
杉山 祥仁
田中 爽
富田 彩花
永田 琉真
中田 真緒
南條 茉穂
西村 イアン
松下 獅
宮川 輝也
村松 叶成
山崎 雪姫菜
中村 風椋
植田 伊織
吉田 光輝
太田 晶穂

萩間小学校

5年1組

岸田 万穂
長野 結衣
長谷川 優花
小林 和花
二羽 涼真
長谷川 立葵
水野 瑛大
水野 友愛
八木 和奏
横山 呼春

6年1組

鈴木 音々
田代 竜太郎
長野 裕心
名波 空來
長谷川 楽斗
水野 光
森田 桜成
森田 渉太
山本 優希
紅林 南帆
渥美 泰熙
榛地 將仁
鈴木 仁太朗
高畑 圭司郎
鈴木 陽菜
三浦 暖
水野 陽

地頭方小学校

5年1組

増田 りか
中山 夢愛
高塚 駿
杉山 琴音
小塚 琉
小塚 芹也
河原崎 壮真
大窪 啓生
矢野 輝一
大窪 澄怜
池田 夕莉奈
小塚 海翔
山本 莉生
渡辺 凰
吉本 美空
大石 和音
佐々木 龍之介
西原 寛人

若林 由真 5年2組

松本 百華
中山 陽道
増田 柚花
奥村 美空
中山 嶺央
中嶋 凜
加藤 巧之甫
渡辺 真夕
山本 真聖
矢島 陽生
村松 大悟
宮本 結愛
溝口 勇吹
増田 七菜
増田 敬介
西原 楓太
西川 歩汰
寺田 流羽
郷野 葵
植田 進慈
大窪 寧

6年1組

山本 珠里
神谷 未咲
植田 梨央
橋口 陸人
櫻井 脩太郎
増田 雄太郎
加藤 月世登
原口 昂大
清水 克泰
小塚 珀斗
増田 倅平
石田 歩夢
西村 潤也
寺田 桐斗
永松 優吾
曾根 市路

楠田 海翔
永井 まひろ
矢野 祥吾
小塚 尚麻
澤入 心美
尾崎 快光
大窪 海渡
増田 陽生
櫻井 蓮
櫻井 萌
鈴木 翔歩
清水 鳳多
小杉 桜ノ嘩
鈴木 玖伶亜
増田 百華
平山 楓華
野本 光流

牧之原小学校

5年1組

石川 咲希
田中 杏果
永田 璃心
神谷 ひらり
水嶋 仁咲
田中 大智
山内 あおい
西村 まどか
廣田 遥花
横山 昂
鈴木 結菜
福代 寧久
黒田 結衣
高木 結愛
辻 結和
紅林 洸利
神谷 梨湖
中村 慎
高畑 恋那
中根 千歳

小林 珠莉
浅井 優太
原崎 千佳
桶川 凌
大石 涼華
仲田 愛未
中村 緋里

6年1組

鈴木 翔椛
永田 穂乃花
成川 倫瑚
西井 陽向
水野 由唯
大澤 実桜
山本 卓実
山崎 叶翔
柳原 一暁
村田 もも
村田 未紗都
松下 英心
林 一千葉
名倉 季穂
仲田 大和
長嶋 佑奈
田村 瑞季
曾根 大聖
鈴木 暖人
榛葉 琉偉
佐藤 優里佳
紅林 直翔
泉地 翼稀
岩倉 未桜
澤入 スイ蓮

川崎小学校

5年1組

横山 透羽
本杉 悠人
鈴木 結奈

峯野 結登
高橋 遼
浜崎 秀馬
原口 祐哉
森木 日向朗
高栞 遥花
増田 未彩
小栗 明日美
加藤 碧
池田 慶二
相澤 佑飛
名谷 僚志
北川 莉子
坂下 諒真
松本 唯愛
篠原 瑠奈
鍋田 青空
石田 なごむ
枝村 怜香
池田 未奈都

5年2組

石川 煌
柴本 萌愛
山西 聖羅
加藤 莉緒
永田 啓人
岸端 ひよら
大石 来海
八鍬 心和
今村 拓夢
山口 湊
横田 耕大
増田 葵良
浅井 颯太
福世 橙真
法月 優斗
青野 暖輝
藤浦 ななみ
堀川 心夢
増田 麗緒

片瀬 彩葉
野澤 美湖

5年3組

原 彩花
池田 悠希
武田 奈々
内藤 愛音
萩埜 聡太郎
山本 小都
加藤 玲音愛
加藤 小桜
北村 心愛
峯野 将誓
山本 哲平
新里 サムエル
増田 琉花
中村 桐龍
鈴木 稜丘
木村 羽瑠
飯塚 璃旺
片瀬 暖哉
河野 雄我
清水 咲絵
西名 愛海

6年1組

松浦 花果
宮津 咲幸
菊地 栞
米山 朔太郎
松浦 未空
村山 翼
鈴木 健太
尾崎 修大
原口 真奈
原 琴音
松村 うらら
紅林 凧爽
村松 夢理
園田 凌右
志田 岳玄

進藤 直柔
加藤 咲彩
久保田 掌
山本 瑛太
塚本 杏珠
永田 杏花

6年2組

石神 颯
濱崎 藍衣
曾根 早希子
手塚 光希
山本 琳夢
加藤 月季
大石 時大
不知 迅
杉山 沙
増田 敬朝
山田 遥陽
遠竹 るりか
金原 武琉
池田 悠真
市川 裕太
平岡 立帆
紅林 恋
大石 小真智
松永 真琴
大石 ひまり
夏賀 彩矢
谷澤 愛心

6年3組

柚本 祐里奈
山本 瑠琉
山崎 日翔
平松 郁哉
塚本 香凜
桑田 悠希
久保田 新菜
小栗 和也
枝村 弥真
石川 釉梨

飯塚 彩芽
栗林 大夢
高橋 歩奈
新谷 幸生
増田 梨花
峯野 優
峯野 夢樺
本杉 柊裕
赤堀 日那
池田 響
今井 翔友桜
大石 斉平
杉山 武
森澤 真優菜
鈴木 進之助

細江小学校

5年1組

山田 ルカス
山村 玲青
鈴木 陽向
橋ヶ谷 和歳
山本 星良
山本 怜奈
吉田 吏桜
東海林 咲空
戸塚 亮輔
桑田 賢亮
木村 美海
鈴木 翔太
梶田 なみき
大澤 結菜
山口 江莉子
小出 一生輝
新井 瑞姫
後藤 亜香陸
米山 翔空
今村 帆七
羽田 柚葉
杉浦 美翼

羽田 柚葉
木下 莉子
牛嶋 准也

5年3組

梅村 ラファエル

勝間田小学校

5年1組

向笠 穂香
舛谷 奈奈佳
赤堀 わかな
成川 帆夏
川嶋 桐真
杉村 想奈
縄巻 璃子
森 颯虹
浅野 愛梨
本杉 壱
富永 蓮
増田 好汰
鈴木 友菜
櫻井 啓稀
吉岡 勇祐
加藤 はるひ
飯塚 あき
中村 穂乃花
村松 みお

6年1組

清水 美羽
縄巻 愛奈
村松 心
櫻井 真紘
村松 茜
鈴木 峯秀織
櫻井 理心
佐野 叶夢
山本 拓哉
飯塚 亜矢乃
村松 湊太

櫻井 瑚々杏
加藤 花奈
太田 夕葵
赤堀 誠斗
村松 蕃
山下 琉璃
落合 日向
山本 爽来
吉岡 小百合
加藤 芽衣

坂部小学校

5年1組

福代 羽琉
橋田 百叶
米山 太陽
関 晃誠
大関 悠真
後藤 穂乃香
岩倉 翔空
大石 歩未
大石 煌大
野深 健人
福代 湊
堀江 准成
中村 紀哉
松浦 飛翼
板倉 匠海
渡辺 千代里
松本 早矢
小塩 優衣
杉本 華乃

6年1組

村田 瑛
福代 愛加
間渕 天翔
水嶋 乃彩
本間 慧大
田中 麻央

木村 花凜
河村 典河
池ヶ谷 勇生
福代 七菜
石神 凜太郎
板倉 心響
松本 大生
良知 拓海

小作文応募数			
学校名	5年	6年	合計
相良小学校	81	85	166
菅山小学校	22	26	48
萩間小学校	10	17	27
地頭方小学校	40	33	73
牧之原小学校	27	25	52
川崎小学校	65	68	133
細江小学校	26		26
勝間田小学校	19	21	40
坂部小学校	19	14	33
合計	309	289	598

たくさんのご応募、大変ありがとうございました。

モラロジー教育では「3つの心」を育てます。

感謝の心

大自然の恵み、また家庭や国の恩恵などに対する感謝の心は、自分の命はもちろん、あらゆる命を大切にする尊厳性をはぐくみます。そして恩返しをしたり社会や世界に貢献していく勇気を育てます。

思いやりの心

相手の立場に立って考えることのできる思いやりの心は、人の喜びや悲しみ・痛みへの共感性をはぐくみます。そして自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深いやさしさを育てます。

自立の心

夢や志に向かって、主体性を持って生きようとする自立の心は、家庭人、社会人、また国民としての責任感や使命感をはぐくみます。そして地域や国際社会に目を向けていくたくましさを育てます。

●モラロジーとは●

モラロジー (Morality) は、「道徳」を表すモラル (moral) と「学」を表すロジー (logy) からなる学問名です。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合人間学です。

モラロジーでは、一人ひとりの幸せと心豊かな社会の実現には、人間の品性を高める質の良い道徳の実行が必要と考えています。一般に、道徳は「人間の行為の規範」と理解されているように、行いや形式面が強調されがちです。モラロジーでは、行いはもちろんですが、それ以上に行いのもとになる心のあり方 (心づかい・考え方) を重視しています。

「いのちのつながり」小作文作品集

発行日 平成31年3月

発行 小笠原モラロジー事務所

〒439-0034 菊川市下内田 1314-1

TEL 0537-35-6690